

2026.02.07 | 宮本公民館

# 持続可能な未来への舵取り：開放・デジタル・改革

## 第4回理事会 議事要録要約

### 組織改革 (Organizational Reform)

「まちづくり学部」卒業生への資格拡大と、市役所の縦割り行政（高齢者福祉・社会教育）を繋ぐ交渉を開始。

### デジタル・文化 (Digital & Culture)

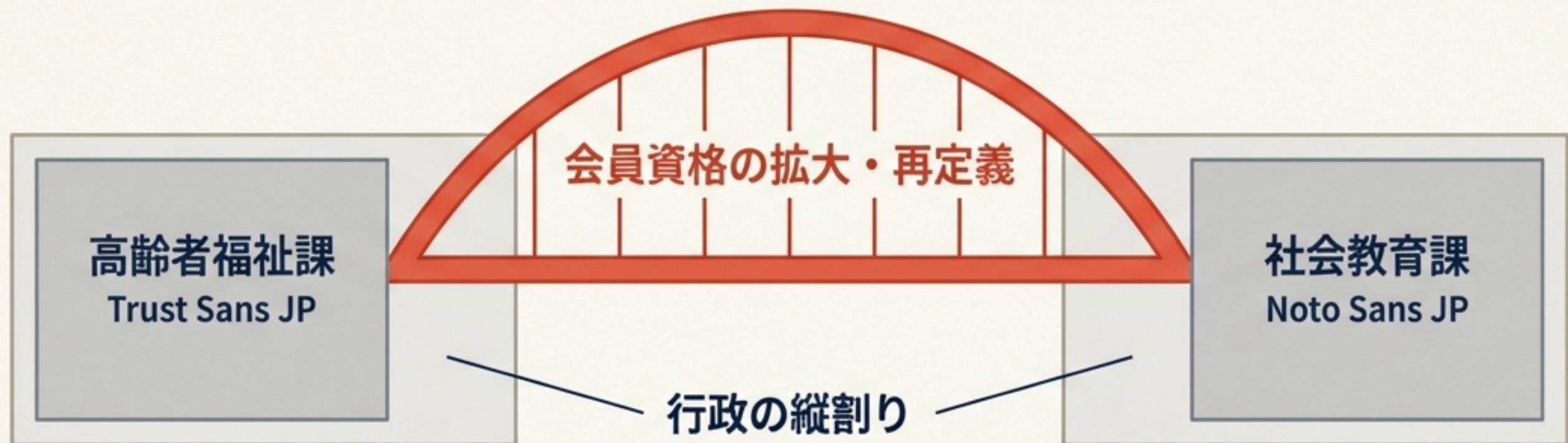
AI活用・PC作品を取り入れた作品展の開催。広報誌の内製化によりコスト削減とスキル向上を実現。

### 次世代リーダー (Future Leadership)

次期会長に長澤純子氏を指名。部署横断的なプロジェクトチーム(PT)を発足し、組織の硬直化を打破。

# ビジョン：縦割りを打破し、コミュニティを広げる

現状維持ではなく、行政連携による新たな会員定義の模索



## • 課題 (Challenge) :

会員減少と高齢化。既存の「いきいき学部」卒業生枠だけでは限界がある。

## • 転換 (Pivot) :

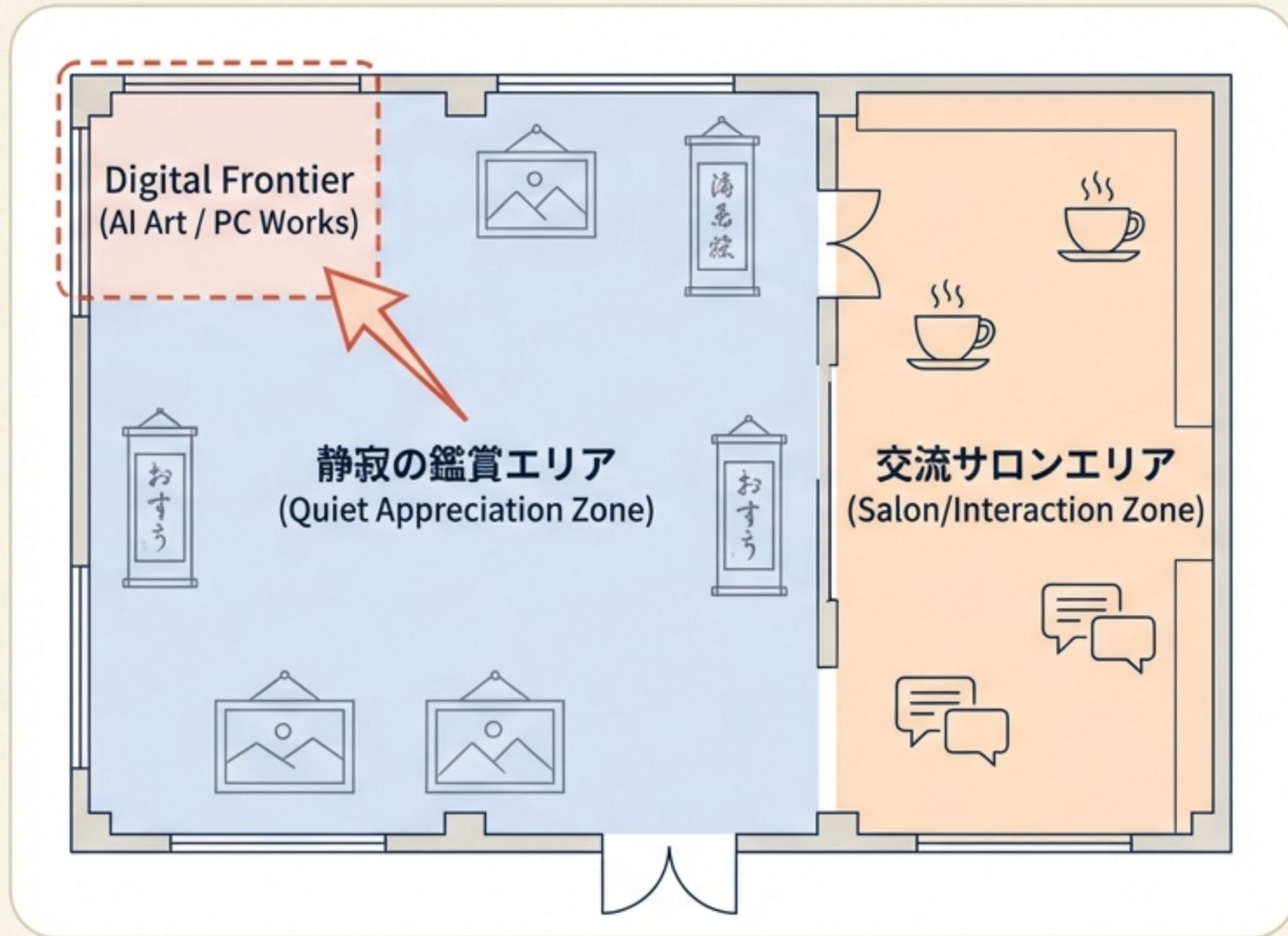
「まちづくり学部」卒業生も対象とする方向へ。42年の歴史を守りつつ、6年前の改革を超える変革を目指す。

## • 交渉 (Action) :

市役所課長級と協議中。補助金交付要綱の見直しを含めた制度設計に着手。

# 第36回作品展：開かれた学習の場へ

コンセプト：「開かれた・つながる・進化する」



## デジタルフロンティア

画像生成AIや作曲AIを活用した作品を初展示。従来の展示に加え、新しい学習成果の形を提示。

## 地域への開放

元会員や地域グループの参加を解禁。SNSでの多角的な集客プロモーションを実施し、ネットワークを再構築。

## ゾーニング戦略

「静かに見たい」と「話したい」を両立させる空間設計。

# 内製化によるコスト削減とチームビルディング



## 広報誌114号の成果

外部委託を廃止し、部員の手による100%内製化を実現。制作プロセスを通じ、広報部内の結束力（チームビルディング）が向上。

## デジタル・アーカイブ化

ホームページ上に新データベースを構築。スマホやPCから、いつでも過去のバックナンバーが閲覧可能に。



【依頼】各クラス代表（理事）は、会員への確実な配布徹底をお願いします。

# 健康・交流・学び：バリアフリーな活動へ

## Inclusive Sports



### ニュースポーツ導入 (モルック・ボッチャ)

年齢や体力を問わず参加できる  
用具を購入し、スポーツへの  
ハードルを下げる。

## Travel & Discovery



### 高満足度のバスツアー

1/16実施の「首都圏外郭放水路  
(地下神殿)」ツアーは好評。  
「地域福祉バス借上げ補助」を  
活用し、自己負担を軽減。

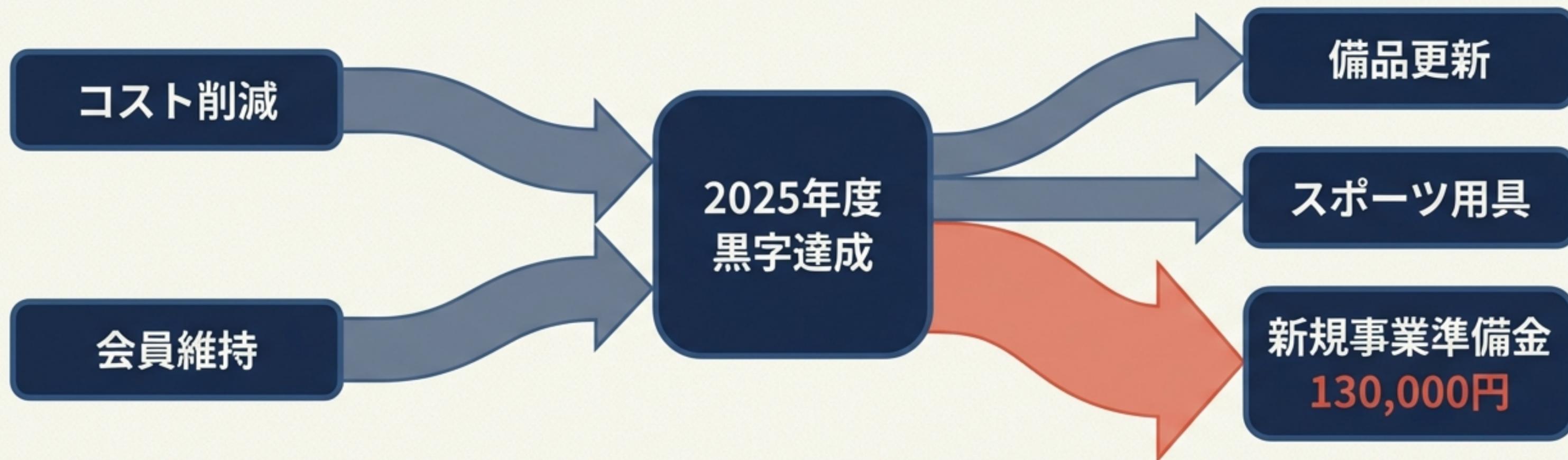
## Event Evolution



### 総会をイベント化

4月10日の総会は、平澤諭氏  
(ピアノ・コーラス) によるコン  
サートを併催。単なる会議から  
「行きたくなるイベント」へ。

# 2025年黒字決算と2026年戦略予算



2025年実績	印刷費17万円減により黒字確保。
2026年予算	会員数610名を想定した堅実予算。
組織構造	「プロジェクトチーム(PT)」発足。縦割り弊害を解消し、デジタル化を加速。

# 次期体制と構造的課題

## 次期会長候補



**長澤 純子 氏**

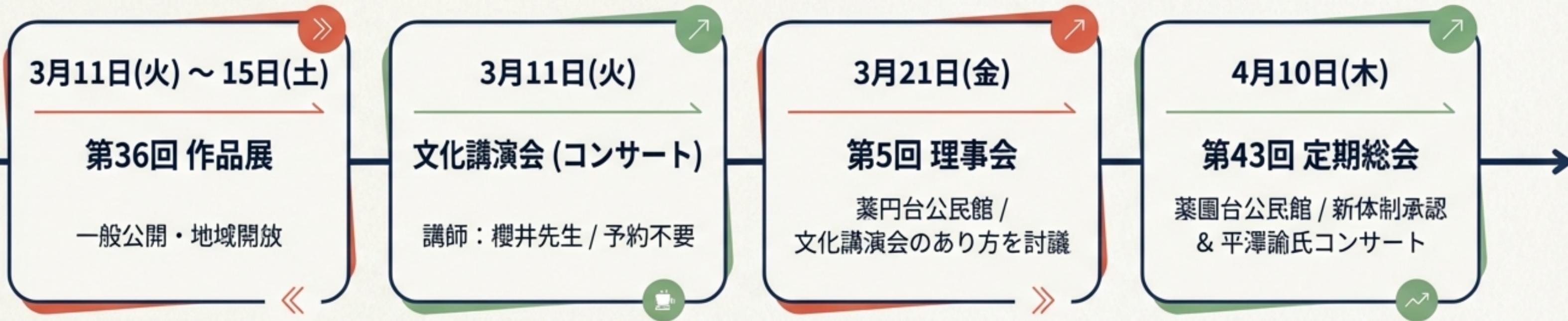
推薦委員会による厳正な審査と投票を経て選出

「入ってよかったと思える  
魅力ある同窓会にしたい」

## 【重要】後継者不足の課題

特に健康スポーツ部において、  
リーダーの高齢化と後継者不在が  
深刻化。  
個人の問題ではなく、組織全体の  
構造的課題として認識・解決が必要。

# 今後のスケジュール (Roadmap)



変革への第一歩として、皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。